

コイシ流哲学



▲ 社内での打ち合わせのようす

「土木の力で自然を取り戻したい」と話す小原社長。現在、国東半島上空にヘリコプターを飛ばし、半島の3D化に取り組んでいる。

同社は、8年に県内初の「ベンチャー企業」に認定。三次元設計データと規格値を三次元グラフィックス化する「KOISHI-3D」や測量・土木計算機「丁張マンシリーズ」などは国内外から高い評価を得ている商品も販売する。技術力の高さから、全国大手のゼネコンと直接取引や省庁からの講演依頼なども来ている。

すばらしい技術のほかに注目すべきことが同社

(株)コイシ

大分市大字横尾 3617 番 2

TEL 097-506-0400

の人間力。3Dデータスキャナーなどで測量した膨大なデータを処理しているのが、ほんの数年前まで普通の主婦だった女性だという。今でも数人の主婦がパソコン作業をこなす。社内セミナー「コイシ塾」、現場を知ってもらうための現場見学会、子どもたちの同伴出勤など、社員のスキルアップ、働きやすい職場を常に考え、実践に取り組んでいる。

小原社長は「今までの土木は、自然破壊をする仕事だと認識されているが、ダム工事などは自然界に適応した湖を造ると考えれば、発想は変わってくるはず。自然に溶け込む土木工事にしないと、これから若い人たちはやってこない。国東市安岐町出身の偉人・三浦梅園の教えである「自然の力を人間の知恵で発展させていく」、これが土木の本質だと思う」と話す。平成元年に同社を設立して26年。ようやく、目指すものが見えてきたと小原社長は笑う。国東半島に、土木自然学校の設立などまだやりたいことがたくさんあるという。